

Vol.

2

第2号

2025

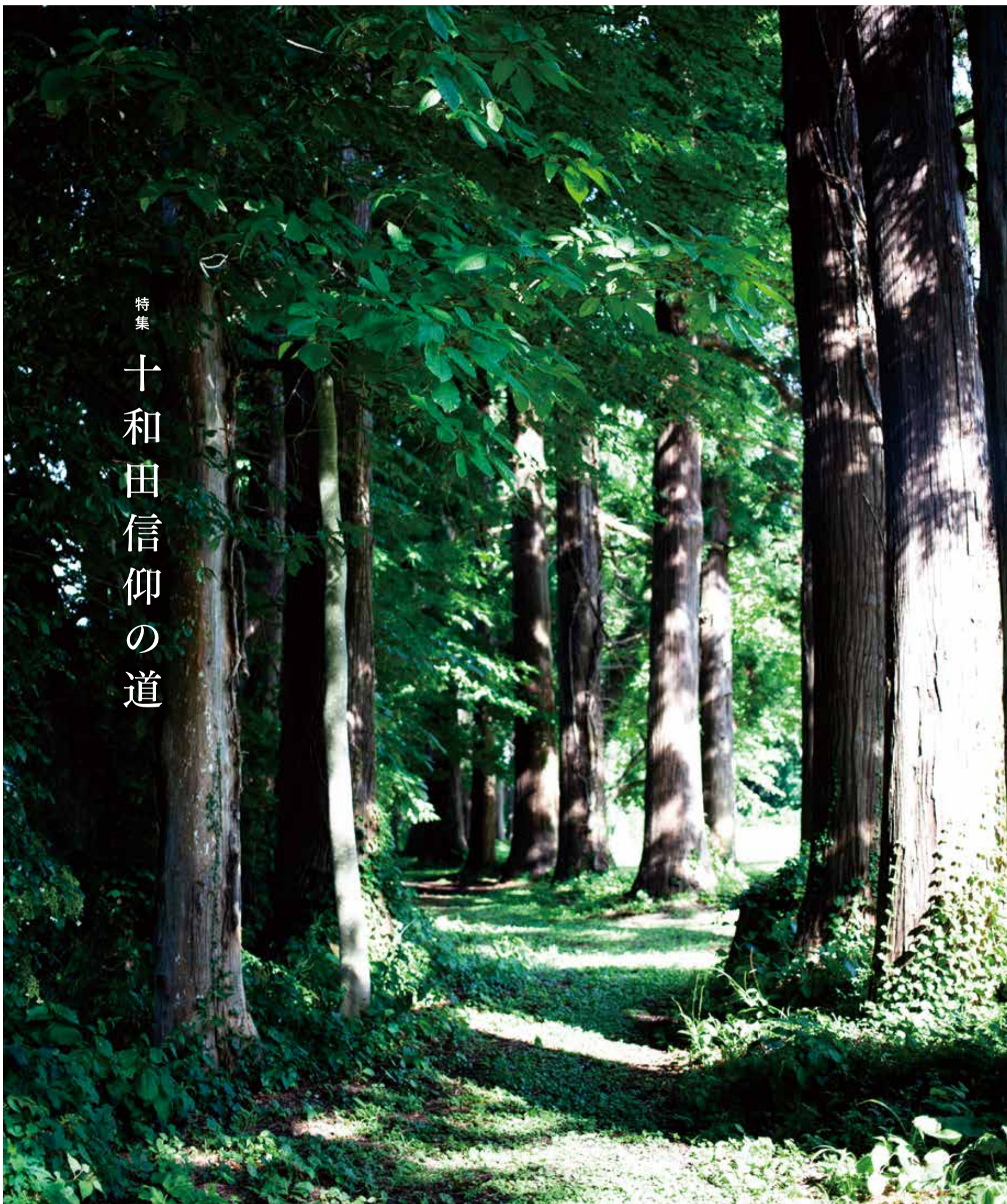


十和田湖の自然とヒトが奏でるハーモニーに耳をかたむける

# トワダノオト

TOWADA no OTO

特集  
十和田信仰の道



Interview

十和田湖伝説の伝え方を考える会 事務局長、十和田湖の案内人 遊部屋十和田 代表・山下晃平／十和田神社 禰宜・高橋知生／  
【占場今昔ストーリー】織田宜比古／長尾エクヨ／橋野修一

# 十和田信仰の道

十和田湖を語る上で、信仰の場所であるということは避けて通れない。  
十和田神社、杉並木、古道、占場……。そうした信仰の場所をどう伝えていくか。  
いま、十和田信仰にかかわる、30代のふたりにインタビューをした。



## 山下晃平

十和田信仰を伝える人

### Profile

十和田湖伝説の  
伝え方を考える会  
事務局長、  
十和田湖の案内人  
遊部員十和田 代表  
やました・こうへい

1990年札幌市生まれ。  
弘前大学進学に伴い来  
県。卒業後、大手ラー  
メンチェーン「幸楽苑」  
に勤めたのち、十和田  
市地域おこし協力隊  
(十和田湖畔地域担当)  
として着任。一般社団  
体法人十和田奥入瀬観光  
機構勤務を経て独立

魅力を知り、伝え続ける。それがガイド。

## 十和田湖にたどり着くまで

山下晃平さんは、十和田湖に来てもうすぐ丸10年。いまではすっかり「十和田湖のガイド」としての地位を確立している。だが、それまで彼がたどってきた道を知る人は多くないだろう。三人兄弟の真ん中として生まれた山下さんは、高校までを札幌で過ごす。自然のことを最初に教わったのは祖父。家庭菜園が趣味で、家の周りの野草のことも教えてくれた。「特段自然に興味があるわけではなかったと思いますが、大人になったら水族館や動物園の職員になりたい、と漠然と思っていました」持ち前のよくとおる声は、喘息ゆえに呼吸を意識し、中高を通じて体得したという。中学では文化祭の開会式で、民謡を独唱で披露するほどに、声を通るキャラだった。

人前に出ることに気後れしなかったようになっていた高校生の山下さんは、政治家を目指し、法学部を志望した。だが、法学部のある第一志望は受からず、後期日程で弘前大学教育学部生涯教育課程地域生活専攻へと進学する。大学では、生協の学生委員会に参加し、弘前市内の6大学連携の委員会にも呼ばれるなど、学業のみではなく地域活動にも熱心に取り組んでいた。

大学を卒業後、ラーメンチェーン「幸楽苑」へ就職した山下さん。激務の中でぼんやりと考えていたのは、学生時代を送った青森のことだった。「当時は、北海道はどこに行っても同じ歴史文化のように見えていて、青森は、南部と津軽の文化の違いだけでなく、さらに細かい部分にまで地域性があって、面白いと感じていました」

実際の転機は、30歳になる前に訪れる。青森県内での仕事を探していたところ、地域おこし協力隊に出合う。いくつかあった中でも、たまたま条件に合致したのが十和田市の募集だった。

十和田市として、十和田湖畔地域への地域おこし協力隊の採用ははじめて。敷かれたレールはな



く、漁協の手伝い、イベントの手伝いをしたりと  
する中で、深い関わりをもつようになっていくの  
が、十和田湖自然ガイドクラブだった。

## 気付いたら「十和田湖のガイド」に

2016年2月に地域おこし協力隊として採用された山下さんが企画し、自然ガイドクラブと共催したのが、17年6月に開催した「十和田湖歴史資源ブラッシュアップセミナー」だ。自然ガイドクラブのメンバーと会話する中で出てきたのが「十和田信仰について知りたい。できれば、斉藤利男先生（弘前大学名誉教授）の話を聞きたい」という案だった。2014年に、上北地域県民局が主催のセミナーで、十和田古道について、講演していたのが斉藤先生だった。折しも、前年の

2016年には杉並木がタカラ・ハーモニストファン  
ドの助成金を得て復活したばかり。信仰に対する  
機運が盛り上がっているところだった。

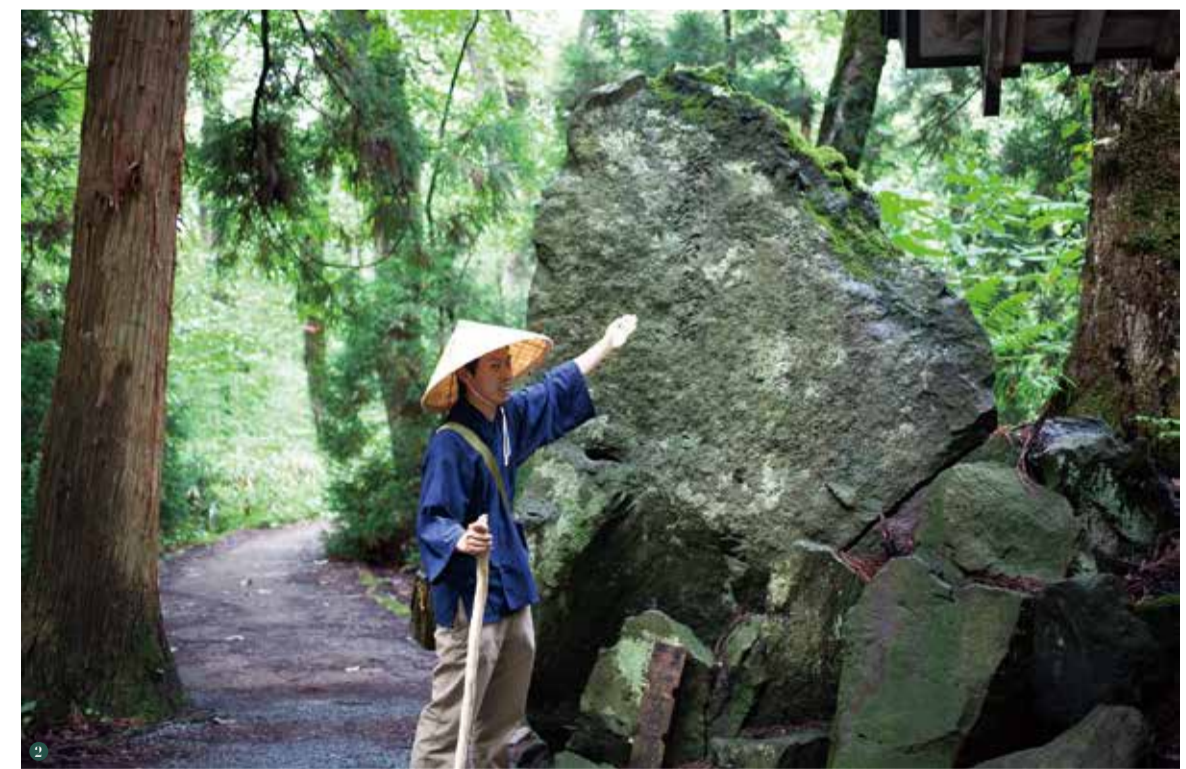
セミナーを通じて十和田湖伝説が当初のかたちから変容していることを知り、「十和田湖伝説の伝え方を考える会」（会長：中川一樹）を立ち上げる。正しい歴史の姿を追い求めながら、どう伝えていけば楽しんでもらえるのかを考えたい、ということからだった。翌年には、斉藤先生と考える会の共著で『霊山十和田～忘れられたもうひとつの十和田湖～』（文化出版）を刊行。十和田信仰の基礎資料が完成する。その後も、毎年のセミナー実施を重ねながら、2024年には十和田古道の会が設立され、2026年には田子町でのフォーラム開催が決定しているなど、十和田市内にとどまらない動きとなってきた。

一方で、協力隊の任期満了を迎え、一般社団法人十和田奥入瀬観光機構、そして現在は独立した個人事業主として働く山下さん。なぜ、ガイドとして生計を立てるようになったのだろうか。「最初からガイドを志したわけではありませんでした。ですが、“魅力を知って伝える”という活動に面白さは感じていました」

観光業では冬季は稼げないと一般的に言われている中で、事務局として関わった十和田湖冬物語を通じ、冬季のネイチャーガイド需要が発掘できることに気付いた。また、これまでずっと深掘してきた歴史や信仰のことも、自分ならではの強みになると考えた。宿泊施設も提携したツアーも企画し、好評を得ている。

「いまは、個人事業でしっかり稼げるようになり、スタッフを雇用することも考えています。しっかり稼いで、生活に余裕をもたないと、未来のためのことができないから」

十和田湖が観光地となる以前、信仰の場所だった頃のこと、そしていまは、失われかけている湖上の景勝地の名前をデータベース化したいという。新しいことを作るのではなく、もともとあった価値を正しく伝えることが、十和田湖の魅力を保ち、価値を高めていく。山下さんは背伸びをすることなく、十和田湖の本質を追い求めている。



①6つの社が立ち並ぶ開運の小道。かつて修験者が修行をした修験窟の名残とされる。②神社の手水舎の隣にある石碑。1827年の石鳥居の奉納について刻まれている。③神泉苑とその先の占場まで立入禁止になっている現在、熊野神社と稲荷神社とな並ぶ遷葬所が十和田信仰の最奥地だ。「期間を決めて監視員を配置してでも、占場に行ける機会があったほうがよい。使わないと、忘れられ、腐れてしまう」。④案内するためのツールはもちろん自作。資料集めも楽しみながらつくっている





目を凝らすと見えてくる、信仰の地であるあかし



1.現在の占場。人が入らなくなり茂った木々の中に、杉の木と小さな祠がある。2.開運の小道。雷江真澄来訪時(1807年)には既に参拝の対象となっていた記録がある。3.タゴガエルの鳴き声がこだまする手水舎。4.皇紀二千六百年記念行事の翌年、1941年に完成した拝殿。5.本殿には鉄のわらじがかかっている。6.旧暦の5月15日には毎年十和田神社の例大祭が執り行われる。7.杉並木を歩く。8.御前ヶ浜と恵比寿・大黒島。かつては二つの島を合わせて果報島とも呼ばれ、願掛けとして賽銭投げを行っていた

1  
2  
3  
4  
5  
6 | 7  
8



Column

子どもにとってはどんな場所だった!?

## 十和田信仰占場今昔ストーリー

十和田信仰の核心地である占場。立入禁止となってから10年以上になるが、昔はどのような場所だったのか? 地元のみなさんに聞いてみました。

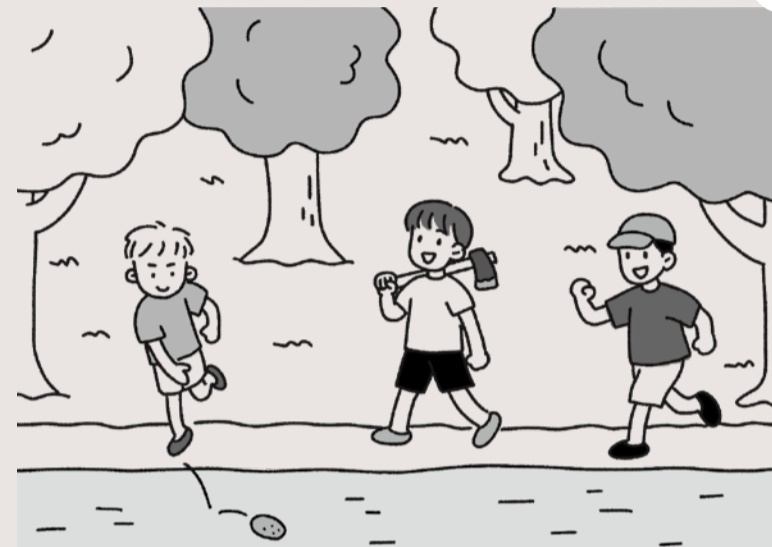
真っ暗ななか、ハシゴを使わずに登ったこともあります

Story 1

十和田神社宮司 織田宜比古さん  
(昭和24年生)

子どもの頃の占場は、単なる遊び場だったという織田宮司。「お賽銭を拾ったり、(たきつけになる)カバの木の皮を探しに行ったり、マサカリをかついで行ったこともあります」と遠くを見つめる。「占場はもともと五穀豊穡を願い、天気を占う場所。農家や漁師が吉凶

を占うために来ていました」。そんな占場が立入禁止になったのは東日本大震災後。落石の懸念があり、利用者の安全が確保できなくなったことが理由だった。土地は国有林であり、占場へ降りるハシゴは寄進されたもの。国立公園かつ文化財であるため関係者が多く、調整に時間と手間がかかる。だが、立入禁止のままではいいとは思っていない。「復活させたい。神社に来たら、占場にも行って手を合わせてほしい」



神聖な場所というより、日々遊びに行く場所だった

十和田神社宮司・織田家の親戚 長尾エクヨさん  
(昭和25年生)

十和田神社宮司織田與二郎の姪として生まれたエクヨさんは、6人兄弟の末っ子。幼少期の遊び場はもっぱら一の宮より北側で、神社の境内や神泉苑、占場を友だちとともに駆けまわっていた。「占場にハシゴを降りて、湖に足をを入れて遊んだりしていました。特別な場所だなんて考えたこともなかったです」とエクヨさん。当時はまだ占場にしめ縄もいなかったそう。びっくりすることに、急峻な場所にもかかわらず、ケガをした、という話も聞いたことがなかったという。何か様子が違うことに気付き始めたのは、神社に勤めはじめてから。「お客さんに聞かれるので、神聖な

場所なのか、と、改めて認識するようになりました」。平成に入って青森県による神泉苑への階段の整備がはじまったこともきっかけだった。

Story 2



いつまでも変わらない、占場! /



青森県所蔵歴史資料  
大正時代に撮られた写真。左ページの現在の様子と比べても、木がうっそうとしたほかに100年前とは変わらない様子であることがわかる

友だちと遊びにいった遠い記憶があります

休屋在住 橋野修一さん  
(昭和24年生)

親ともあまり熱心に参拝するほうではなかったという橋野さん。十和田荘に勤めていた両親につれられ、幼少期は大湯と十和田湖をいったりきたりしていた。夏場の拠点が十和田湖になるのは小学生の頃。十和田神社にお願いごとやお参りに行ったことはない、と言いつつも、友だちと連れ立って占場を訪れたことはあるようだ。

「鉄のハシゴを降りていったことを覚えています、怖さはなかったですね。それっきりで、大人になってからは占場には行っていないと思います」と橋野さん。信仰の場所としての活用も含め、占場が今後どのようなようになってほしいか聞いたところ、「できれば自然のまま、あまりいじらないほうがいいですね」



Story 3

# 十和田信仰関連MAP

これまで見てきた十和田信仰の場は、湖畔にとどまらず広がっている。  
発見された古道の跡や、本号で紹介した場所も含めて、その一部をご紹介します。

## 【十和田七口について】

最新の研究によると、十和田信仰に使われた道は全部で7つあったという。三八上北管内のみならず、南部藩領だった鹿角側からの道も。第一、第二、第三の結界を通り、たどり着くのが現在の十和田神社と占場だ。占場から仰ぎ見る御倉半島こそが、十和田信仰の核心部で、ご神体ともいえる場所なのだ

### ① 鉛山峠 (通拝所)



大正に発荷峠まで車道が開通するまで、南側の主たる入口。鉛山の運輸にも使われる道だった

### ② 発荷峠 (通拝所)



鉛山峠と同様、湖がはじめて見える白沢道の峠。現和井内交差点まで開通するのは1927年

### ③ 神田川



かつて解除川(はらいがわ)と呼ばれた、最後の結界。現・神田川橋のたもとには鳥居の跡が残る

### ④ 十和田神社



1941年築の拝殿地元の宮大工の技巧が集結。熊野神社、稲荷神社、通拝所もあわせて参拝したい

### ⑦ 御室 (おむろ)



占場から仰ぎ見る、信仰の「奥の院」と伝わる洞窟。大正に記された武田千代三郎の記録に残る  
※現在は近づきにくい場所とされています

### ⑥ 自籠岩

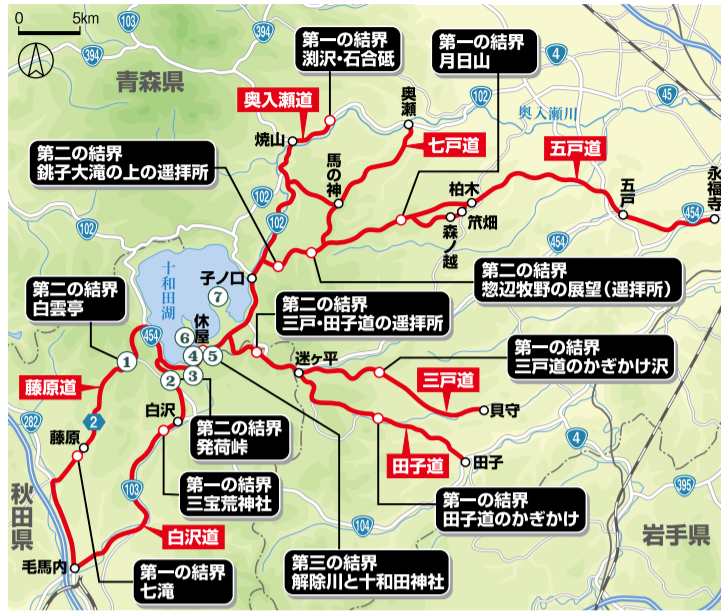


南祖坊が修行したと伝わる、湖岸にそそり立つ岩。大正初期の絵葉書に載る景勝地でもあった  
※現在は登ることはできません

### ⑤ 占場 (うらないば)



歩いてたどり着ける十和田信仰の最奥地。ここから仰ぎ見る御倉半島こそが最も神聖な場所  
※現在は立入禁止



第4回十和田古道フォーラム(2025年5月) 齊藤利男報告資料より作成

国立公園の「いま」をお届け!

# NEWSLETTER

「トワダノオト」の舞台、十和田八幡平国立公園。  
現場におかれる環境省十和田八幡平国立公園管理事務所から  
国立公園について知ってほしいことをお伝え!

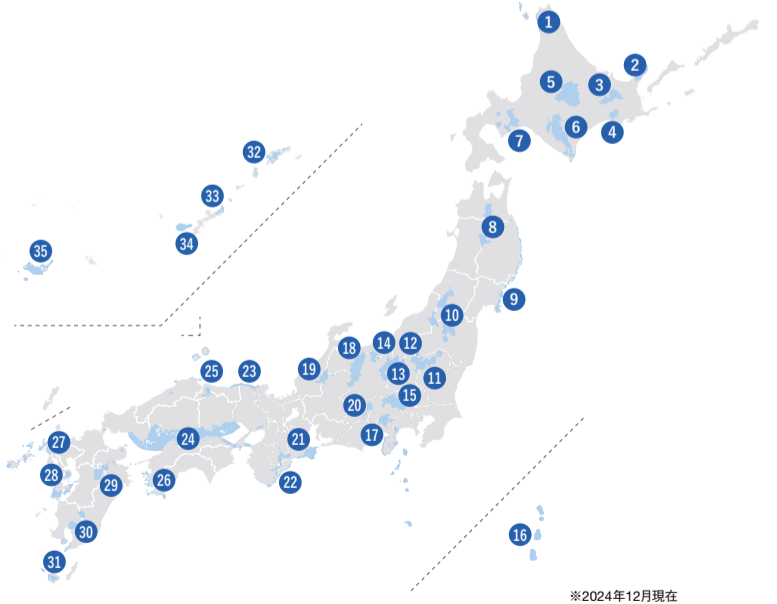
ニュースレター  
from 環境省

## 実はこんな場所も!? 国立公園は全国に35か所!

十和田湖が国立公園であることは、読者の皆さんには周知の事実。ですが、日本全国に国立公園がいくつあるか、どこが国立公園に指定されているか知っていますか? 北は北海道から南は沖縄まで、その数全国に35か所。青森県と秋田県に属する国立公園十和田八幡平国立公園だけでしたが、2013年に種差海岸・蕪島・階上岳などが三陸復興国立公園として指定されたため、2か所になりました。私たちにとって当たり前の国立公園ですが、中には国立公園がひとつもない県(茨城、千葉、愛知、佐賀)もあります。十和田湖の皆さんは、観光で訪れた場所が国立公園だった、という経験も多いのではないのでしょうか?

### 日本の国立公園リスト

- 〔北海道地区〕
- ① 利尻礼文サロベツ国立公園
- ② 知床国立公園
- ③ 阿寒摩周国立公園
- ④ 釧路湿原国立公園
- ⑤ 大雪山国立公園
- ⑥ 日高山脈襟裳十勝国立公園
- ⑦ 支笏洞爺国立公園
- 〔東北地区〕
- ⑧ 十和田八幡平国立公園
- ⑨ 三陸復興国立公園
- ⑩ 磐梯朝日国立公園
- 〔関東地区〕
- ⑪ 日光国立公園
- ⑫ 尾瀬国立公園
- ⑬ 秩父多摩甲斐国立公園
- ⑭ 小笠原国立公園
- ⑮ 富士箱根伊豆国立公園
- ⑯ 南アルプス国立公園
- 〔中部地区〕
- ⑰ 上信越高原国立公園
- ⑱ 妙高戸隠連山国立公園
- ⑲ 中部山岳国立公園
- ⑳ 白山国立公園
- ㉑ 伊勢志摩国立公園
- 〔近畿地区〕
- ㉒ 吉野熊野国立公園
- ㉓ 山陰海岸国立公園
- 〔近畿・中国四国・九州地区〕
- ㉔ 瀬戸内海国立公園
- 〔中国四国地区〕
- ㉕ 大山隠岐国立公園
- ㉖ 足摺宇和海国立公園
- 〔九州・沖縄地区〕
- ㉗ 西海国立公園
- ㉘ 雲仙天草国立公園
- ㉙ 阿蘇くじゅう国立公園
- ㉚ 霧島錦江湾国立公園
- ㉛ 屋久島国立公園
- ㉜ 奄美群島国立公園
- ㉝ やんばる国立公園
- ㉞ 慶良間諸島国立公園
- ㉟ 西表石垣国立公園



※2024年12月現在

## トワダノオト

発行: 2025年10月 発行元: 環境省東北地方環境事務所 十和田八幡平国立公園管理事務所  
青森県十和田市奥瀬十和田湖畔休屋486 Tel: 0176-75-2728  
編集・執筆: 合同会社ネイチャーセンス研究所 写真: なりた いくつか デザイン: 村上圭子  
イラスト: 福土陽香 地図作成: アルト・ディークラフト



トワダノオト  
読者アンケートは  
こちらから